

# 地 す べ り 対 策 詳 細 設 計 照 査 要 領

平成 2 9 年 1 0 月

基本条件の照査項目一覧表  
( 照 査 ① )

業 務 名 : \_\_\_\_\_

発 注 者 名 : \_\_\_\_\_

受 注 者 名 : \_\_\_\_\_

照査の日付 : 平成      年      月      日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表（様式－１）

No.	照査項目	照査内容		照査①			確認資料	備考
				該当対象	確認			
					確認日			
			照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入		確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	設計業務等照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照	
1	機構解析	1)	地すべりの発生素因・誘因の推定はなされているか。					
		2)	地すべりタイプの決定は適切か。					
		3)	地すべりブロックの分割は適切か。					
		4)	地すべりの運動方向は適切か。					
		5)	地下水の状況は適切に把握しているか。 地下水位の観測時期は適切であったか。					
		6)	今後の地すべりの変動予測はなされているか。					
2	安定解析	1)	すべり面の推定は適切か。 ・何に基づきすべり面を推定しているのか。 (土質・計器観測結果等から)					
		2)	現状の安全率の設定は適切か。					
		3)	C、φの決定は適切か。					
3	防止工法の検討	1)	計画安全率の設定は適切か。 ・目標安全率の設定 ・各工種毎の安全率上昇の見込みは適切か。					
		2)	制約条件の整理は十分なされているか。 ・地形、地質、地元住民等の条件整理。 ・土地利用、地下水利用状況は十分把握されているか。					
		3)	防止工法の比較検討は十分なされているか。 ・経済性、施工性、現地の状況等から ・工法検討にあたり、土質調査結果が十分反映されているか。 (ライナープレート or RCセグメント)					

基本条件の照査項目一覧表（様式－１）

No.	照査項目	照査内容	照査①			確認資料	備考
			該当対象	確認	確認日		
				照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入		

4	基本計画検討 フロー図 地すべり防止計画 のフローチャート	<div><div><div>各種調査解析</div><div>地すべり機構解析</div></div><div><ul style="list-style-type: none"><li>・地すべり発生素因、誘因の推定</li><li>・地すべりタイプ、ブロック及び運動方向</li><li>・地下水状況及び地すべりとの相関</li><li>・地すべり変動の予測</li></ul></div><div>安定解析</div><div><ul style="list-style-type: none"><li>・すべり面の推定</li><li>・C、φの推定</li><li>・間隙水圧</li><li>・安定計算式の選定</li><li>・現状安定率の設定</li></ul></div><div><div>資料収集</div><div>計画基本計画(比較検討)</div></div><div><ul style="list-style-type: none"><li>・計画安全率の設定</li><li>・制約条件の整理</li></ul><div><ul style="list-style-type: none"><li>排水工法</li><li>盛土工法</li><li>排土工法</li><li>抑止工法</li><li>その他</li></ul></div></div><div>方針決定</div><div><div>補足調査</div><div>基本計画</div></div><div>詳細設計</div><div>施工</div><div>効果測定</div><div>完了</div><div><div>・検討項目</div><div><ul style="list-style-type: none"><li>計画安全率</li><li>経済性</li><li>施工性</li><li>安全性</li><li>美観 等</li></ul></div></div><div>NO</div><div>YES</div></div>			確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	設計業務等照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照
---	--	---	--	--	---	--------------------------------------

基本事項の照査項目一覧表（様式－１）

追加項目記入表

No.	照査項目	照査内容		照査①			確認資料	備考
				該当対象	確認			
					確認日			
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 （例）関連基準類、過年度成果の該当頁 等	設計業務等照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照

細 部 条 件 の 照 査 項 目 一 覧 表  
( 照 査 ② )

業 務 名 : \_\_\_\_\_

発 注 者 名 : \_\_\_\_\_

受 注 者 名 : \_\_\_\_\_

照査の日付： 平成        年        月        日 \_\_\_\_\_

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

No.	照査項目	照査内容		照査②			確認資料	備考
				該当対象	確認			
						確認日		
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	設計業務等照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照
1	横ボーリング工	1)	ボーリング延長・角度は適当か。 ・ボーリング長は長すぎないか（概ね50m） ・すべり面への貫入長は適切か（5～10m）					
		2)	ボーリングの配置は適当か。 ・ボーリング間の間隔、面的配置は適当か。					
2	集水井工	1)	C、φ、γの設定は適当か。					
		2)	部材の選定は適当か。 ・土留材（鋼製かRCセグメントか）の選定					
		3)	部材厚・補強材の設計は適当か。					
		4)	井筒の深度は適当か？（すべり面との位置関係）					
3	抑止杭工	1)	地盤定数の設定は適当か。					
		2)	設計式の選択は適当か。 ・杭の選択は適当か（モーメント杭、せん断杭等）					
		3)	杭の安定性に対する検討は適当か。 ・基盤への根入長 ・杭間隔、杭の肉厚					
		4)	地盤の安定性の検討は適当か。 ・中抜けの検討 ・地盤破壊の検討					
		5)	杭種、配列、位置は適当か。 ・杭の材質の検討 ・単列及び複列（千鳥配置）の検討 ・杭の性質に応じた設置範囲に入っているか					
4	アンカー工	1)	地盤定数は適当か。 ・締め付け、引き止め効果の評価は適当か。					
		2)	アンカー体定着地盤の強度は十分か。					
		3)	アンカー長の設定は適当か。 ・定着長、自由長は適切か。					
		4)	必要アンカー力の算定は適切か。					
		5)	アンカー材・配列・位置は適切か。 ・施工性、経済性の検討。 ・二重防錆はおこなわれているか。 ・アンカー間隔は狭すぎないか。					
		6)	アンカー工の受圧方法は適当か。 ・法枠工の検討 ・受圧版（RC、PC版）					
5	切土、盛土工	1)	切土、盛土の検討は適切か。 ・地形、地質等の制約はあるか。 ・切土、盛土勾配は適切か。 ・切土、盛土あとの斜面の保護工は考慮されているか。 ・切土背後の地すべりの発生はないか。 ・盛土末端の土留工は計画されているか。					
6	水路工	1)	流量計算は行われているか。 ・集水面積10ha以上。 ・断面の決定根拠は適当か。					

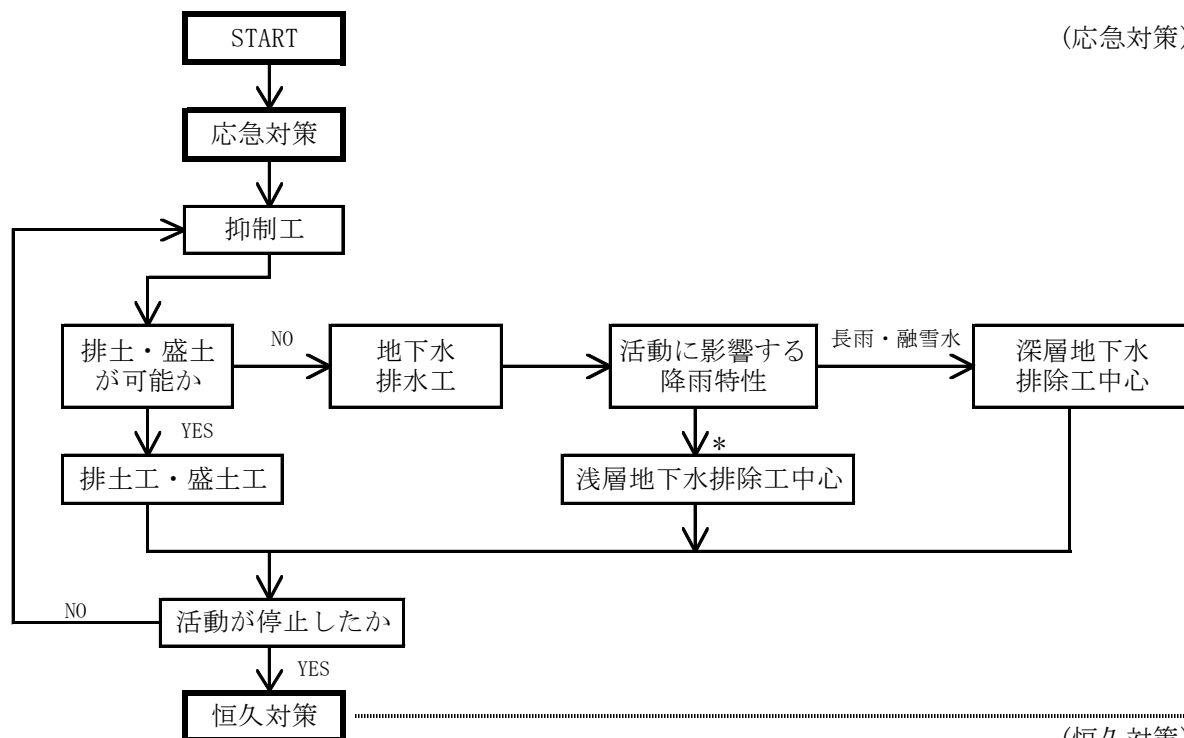
細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

追加項目記入表

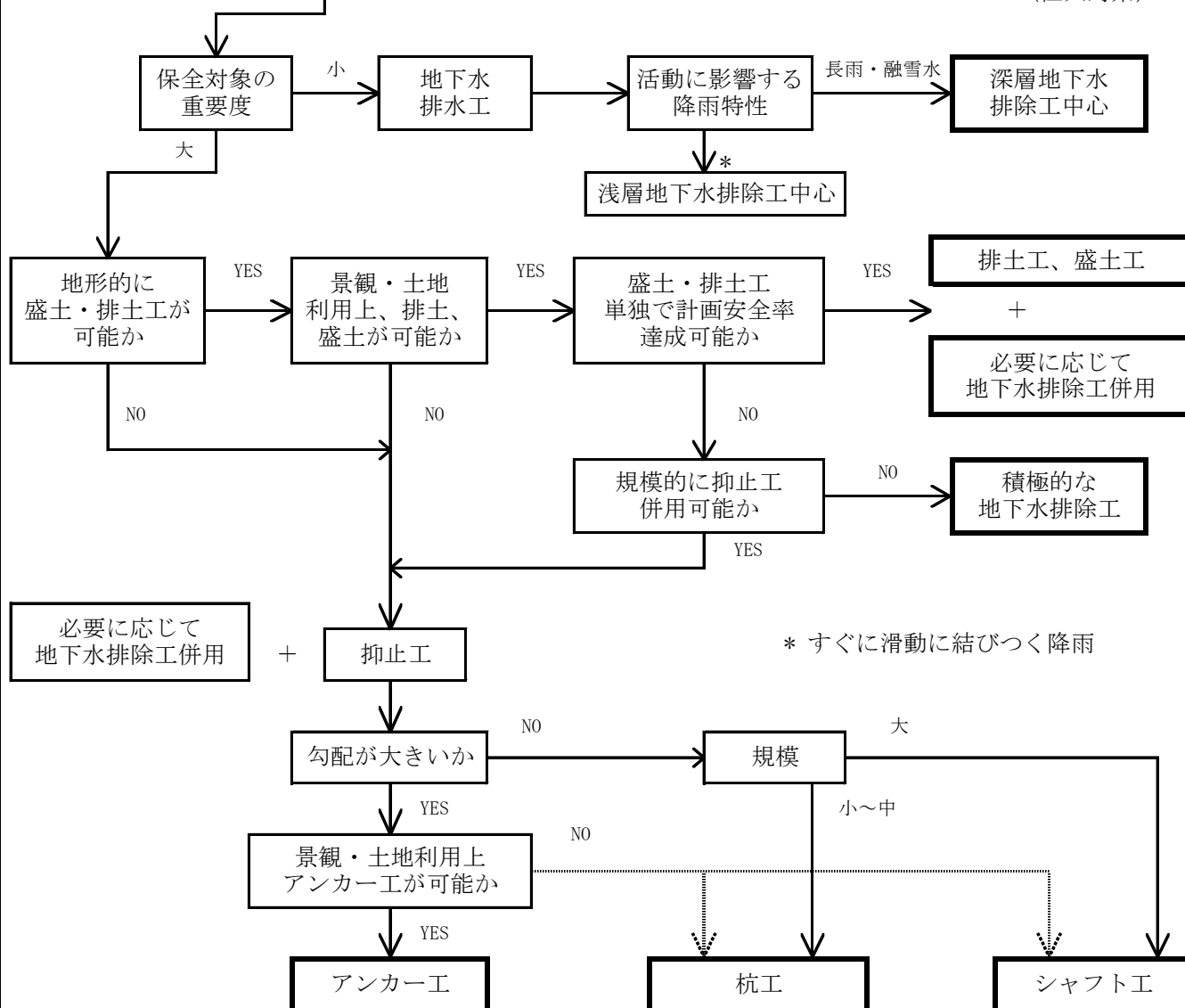
No.	照査項目	照査内容		照査③			確認資料	備考
				該当対象	確認			
					確認日			
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	設計業務等照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照

# 細部条件の照査項目一覧表

(応急対策)



(恒久対策)



\* すぐに滑動に結びつく降雨

原則的な施設計画の検討の流れ

# 成 果 品 の 照 査 項 目 一 覧 表

## ( 照 査 ③ )

業 務 名 : \_\_\_\_\_

発 注 者 名 : \_\_\_\_\_

受 注 者 名 : \_\_\_\_\_

照査の日付： 平成        年        月        日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表（様式－３）

No.	照査項目	照査内容		照査②			確認資料	備考
				該当対象	確認			
						確認日		
			該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入		確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	設計業務等照査要領の概要「6. その他記載等にわたっての留意事項」を参照
1	設計計算書	1)	打合せ事項は反映されているか。					
		2)	設計条件、施工条件は適正に運用されているか。					
		3)	インプットされた値は適正か。					
		4)	各検討設計ケースは適切か。					
		6)	荷重、許容応力度の取り方は妥当か。					
		7)	安定計算結果は許容値を満たしているか。					
		8)	荷重図、モーメント図等は描かれているか。					
		9)	施工を考慮した計算となっているか。					
		10)	応力度は許容値を満たしているか。また、単位は適正か。					
		11)	図・表の表示は適正か。					
		2	設計図	1)	打合せ事項は反映されているか。			
2)	縮尺、用紙サイズ等は共通仕様書、または、特記仕様書と整合されているか。							
3)	必要寸法、部材形状等にもれはないか。							
4)	全体一般図等に必要な項目が記載されているか。（水位、地質条件、法線、座標値等）							
5)	使用材料及びその配置は計算書と一致しているか。							
6)	構造詳細は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。							
7)	各設計図が相互に整合しているか。 ・一般平面図と縦断図、横断図、構造図 ・構造図と配筋図 ・構造図と仮設図							
8)	設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。（特に応力計算、安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合しているか。） ・かぶり ・壁厚 ・鉄筋（径、ピッチ、使用材料、ラップ位置、ラップ長、主鉄筋の定着長、段落し位置、ガス圧接位置） ・鋼材形状、寸法 ・使用材料 ・その他							
9)	レイアウト、配置、文字サイズ等は適切か。							
10)	解り易い注記が記載されているか。							
11)	図面が明瞭に描かれているか。（構造物と寸法線の使いわけがなされているか。）							
12)	工種・種別・細別は工種別体系と一致しているか。							
13)	施工に配慮した設計図となっているか。							
14)	寸法・記号等の表示は適正か。							

成果品の照査項目一覧表（様式－３）

No.	照査項目	照査内容		照査②			確認資料	備考
				該当対象	確認			
					確認日			
			照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入		確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	設計業務等照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照	
3	数量計算書	1)	数量計算は、数量算出要領及び打合せ事項と整合しているか。(有効数字、位取り、単位、区分等)					
		2)	数量計算に用いた寸法、数値、記号は図面と一致するか。					
		3)	数量取りまとめは、種類毎、材料毎に打合せ区分にあわせてまとめられているか。また、数量算出要領にあわせてまとめられているか。					
		4)	数量計算の根拠となる資料(根拠図等)は作成しているか。					
		5)	施工を考慮した数量計算となっているか。					
		6)	工種・種別・細別は工種別体系と一致しているか。					
		7)	数量全体総括、工区総括、ブロック総括等、打ち合わせと整合し、かつ転記ミスや集計ミスがないか。					
		8)	使用する材料の規格及び強度等は記入されているか。					
4	施工計画書	1)	施工法、施工順序が妥当であるか。(工法比較時の金額は妥当か、工程及び施工方法は妥当か)					
		2)	施工に対する申送り事項が記載されているか。					
		3)	経済性、安全性が考慮されているか。					
		4)	工事中の環境面が考慮されているか。					
		5)	全体事業計画との整合が図られているか。					
		6)	関係法令を遵守した計画になっているか。					
5	設計調書	1)	設計調書の記入は適正になされているか。					
		2)	マクロ的に見て問題ないか。(設計条件、幾何条件、主要寸法、主要数量(例、m2当たりコンクリート量、m3当たり鉄筋量、m2当たり鋼重等)を類似例、一般例と比較する。)					
6	設計概要書	1)	設計概要書は作成したか。					
7	赤黄チェック	1)	赤黄チェック等により照査したか。					
8	報告書	1)	報告書の構成は妥当か。特記仕様書の内容を満足しているか。					
		2)	打合せや協議事項は反映されているか。					
		3)	設計条件の考え方が整理されているか。					
		4)	比較検討の結果が整理されているか。					
		5)	工事発注時に仕様書で指定すべき事項・条件明示すべき事項が明記されているか。					
		6)	「電子納品要領(案)」に基づいて適正に作成したか。					
		7)	今後の課題、施工上の申し送り事項及び工事発注に際しての留意事項が記述されているか。					
9	コスト縮減	1)	実施したコスト縮減効果は整理したか。					
10	建設副産物対策	1)	リサイクル計画書を作成しているか。					
11	TECRIS	1)	TECRISの内容について、発注者と確認を行ったか。					

成果品の照査項目一覧表（様式－３）

追加項目記入表

No.	照査項目	照査内容		照査③			確認資料	備考
				該当対象	確認			
						確認日		
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	設計業務等照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照